



一般社団法人
かかりつけ支援センター



認知症支援事業のご案内

認知症と共に生きる地域・職場づくり
～プレシニア×デジタルヘルス～

- ・企業内認知症施策
- ・薬局ブランディング
- ・2Dメタバース型コミュニティ構築

私たちは「認知症と共に生きる人・家族・職場・地域」をつなぎ、プレシニア世代からの予防と、早期からの伴走支援を実現することを目指しています。



背景にある日本の課題

- 医療へのアクセスは良い一方で、「予防」や「早めの相談」が後回しになりがち
- 診断時にはすでに軽度認知症まで進行しているケースも少なくない
- 「恥の文化」や「家制度」の影響により、認知症が「隠すべきもの」になりやすい
- 家族介護への過度な依存が続き、地域や職場で支え合う仕組みが十分に機能していない



私たちのミッション

- 認知症に関するスティグマを低減し、誰もが相談しやすい環境をつくること
- 当事者・家族・医療・介護・企業・地域団体をつなぐ「リテラシーのハブ」となること
- オンラインとリアルを組み合わせた「フィジタル」な仕組みで、持続可能な支援モデルを構築すること



アプローチの特徴

- 認知症カフェや企業内認知症カフェなど、「場づくり」と「プログラムづくり」の両面を支援
- 2Dメタバース型オンライン・コミュニティを活用し、国や地域を超えたつながりを創出
- 薬局・企業・専門職が主役となる、現場発の実装モデルを共に設計



ビジョン



メッセージ

岡本 航策
専務理事／事務局長



日本は医療へのアクセスが良い一方で、予防への意識が十分に根づいていません。受診や相談が先延ばしになり、診断時にはすでに軽度認知症まで進行しているケースも少なくありません。

その背景には、「恥の文化」や「家制度」といった歴史・文化的要因があります。認知症に対するステigmaや、家族介護への過度な依存が続くことで、地域で共に生きる環境づくりが妨げられていると感じています。

国は認知症カフェへの助成や認知症サポーター養成などを進めていますが、現状の支援は会場・運営費などの「ハード面」に偏りがちです。

「どのような対話や学びを提供するのか」「誰と誰をどうつなぐのか」といった「ソフト面（プログラム設計・連携・マッチング）」の整備は、まだ十分とは言えません。

限られた資源で本当に意味のある支援を届けるためには、「オンラインの活用」と「人への寄り添い」を両立させることが重要です。

認知症ケアには、人間関係や感情、価値観、病状への纖細な配慮が不可欠であり、単なる一方向の情報配信だけでは不十分です。

そこで私たちは、Zoom等の会議ツールにとどまらず、参加者同士が安心して行き来でき、継続的なつながりと伴走支援を実現できる「2Dメタバース型オンライン・コミュニティ」の構築に取り組んでいます。

ご家族はもちろん、薬局、病院、介護施設、企業、地域団体など多様なコミュニティが「リテラシーのハブ」となり、国や地域を超えて高齢者のオンライン活用とリアルな課題解決をつなぐ仕組みを目指しています。

2025年10月からは、事業領域を認知症分野に特化して再編し、日本の「医療アクセスの良さ」がかえって見えにくくしている予防・早期支援のギヤップを埋めるべく、「プレシニア×デジタルヘルス」による認知症支援ソリューションの確立に注力しています。



プロジェクト

①認知症フレンドリー企業の推進

社員が安心して働き続けられる職場づくりを支援します。

【主な支援内容】

- ・企業内認知症カフェの設計、運営支援
- ・仕事と介護、治療の両立支援（社員・管理職向け）
- ・認知症や家族介護に関する相談フロー、社内制度設計
- ・産業保健スタッフ・外部専門職との連携支援

【目指す成果（KPI）】

- ・欠勤・離職の低減
- ・プレゼンティーズム（出勤しているがパフォーマンスが落ちている状態）の改善
- ・社内の心理的安全性とエンゲージメントの向上

②薬局ブランディング

「制度加算が取れるかどうか」だけではなく、認知症専門性×マーケティング視点で薬局の価値を再設計します。

【主な支援内容】

- ・認知症に強い薬局としてのブランドポジション設計
- ・予防～受診支援～家族介護まで一気通貫の導線づくり
- ・認知症カフェや相談会など、コミュニティ型の取り組みと薬局機能の接続
- ・地域包括ケアとの連携を見据えた情報発信
- ・広報支援

【期待される効果】

- ・かかりつけ患者の信頼向上と中長期的な来局につながる基盤づくり
- ・地域の医療・介護・行政からの相談・連携窓口としての機能強化

③認知症カフェ運営・プログラム開発

当事者・家族・専門職が「安心して話せる・学べる」場づくりを支援します。

【主な内容】

- ・当事者・家族のピアサポートを中心とした認知症カフェの設計、運営支援
- ・脳トレ、セミナー、ミニ講座など「予防×共生」プログラムの企画
- ・医療、介護、地域資源との連携・マッチング
- ・オンラインと対面のハイブリッド開催の設計

④講演・研修

医療・介護・企業・自治体など、多様な対象に向けて講演・研修を行います。

【テーマ例】

- ・認知症予防と生活習慣
- ・BPSD（行動・心理症状）への理解と対応
- ・家族支援とケアラー支援
- ・仕事と介護の両立支援、企業内認知症施策
- ・認知症カフェ運営の実務と地域連携

【実施形態】

- ・オンライン（Zoom等）
- ・対面（講演会・研修会・勉強会など）



プロジェクト

⑤2Dメタバース・プラットフォーム

「場所」「時間」の制約を越えてつながれる、2Dメタバース型オンライン・コミュニティ基盤です。ヴィータ・ネクサス・タワーとして、メタバース認知症支援プロジェクト稼働中。

- ・認知症カフェ、企業内カフェ、専門職研修などを統合した仮想空間
- ・参加者同士がアバターで出入りし、24時間気軽に相談・参加できる設計
- ・単発イベントだけでなく、「継続的な伴走支援」ができる仕組みづくり
- ・クリニックモールフロア（オンライン診療）やリハビリフロア（自費診療）も順次稼働予定



1F 総合エントランス・ロビー



3F 認知症支援センター（当事者支援）

⑥遠隔医療モデル創出（準備中）

オンライン診療と地域の現場をつなぐコ・メディカル連携モデルに取り組んでいます。

- ・薬局×スマートグラスによる在宅・施設での居宅療養管理DX
- ・オンライン診療を現地でコ・メディカルがサポートする遠隔医療モデルの構築

お問い合わせ



一般社団法人
かかりつけ支援センター



電話
072-200-2908



住所
〒573-0086
大阪府枚方市香里園町9-18
植田ビル4F



Email
info@med-psc.com



HP
<https://med-psc.com/>

